

(様式1)

平成23年度 第4次総合計画進捗状況表

1 政策一施策

都市像	03 人・自然・地球にやさしい環境共生都市		
政策	01 地球環境への配慮		
施策	01 省エネやエコ商品の利用など市民のエコライフを促進する		
めざす内容	太陽光発電などのクリーンエネルギーやエコ商品を利用するエコライフが実践され、市民の生活レベルから、地球温暖化防止に向けた取り組みの推進を図ります。		
施策の取り組みの柱と方針			
<p>1 エコライフに向けた意識の啓発</p> <p>○省エネ家電・環境配慮商品などの情報提供をすすめ、またグリーンコンシューマーの育成や環境教育・学習の開催などの支援を図りながら、地球温暖化に関する意識の啓発を図ります。</p> <p>○学校教育における環境教育について、促進・支援を図ります。</p> <p>2 エコライフに向けた実践の促進</p> <p>○関連部署と連携して、自家用車の利用から公共交通への転換を促すとともに、エコドライブの実践やエコカーの利用など環境負荷の少ないカーライフの実現をめざします。</p> <p>○太陽エネルギーを利用した住宅用太陽光発電機器の導入支援などを通じて、新エネルギーの普及・促進を図ります。</p> <p>○市街地への緑化推進などを通じてヒートアイランド現象の抑制を図ることあわせて、家庭における冷房器具使用の抑制による電力使用量の低下につながる取り組みをすすめます。</p> <p>3 市民・事業者・行政との連携</p> <p>○地球温暖化対策地域協議会(仮称)のような組織を通じて、市民・事業者・行政とが連携した取り組みをおこないます。</p>			
施策担当課	所 属 (部・課)		
	主管課	環境政策課 地球温暖化対策推進室	関連課

2 成果指標の実績とめざそう値

指標名及び指標番号	単位	現状値	2010	2012	2017	指標の意図・説明
			H22年	H24年	H29年	
39 地球環境保護のための実践項目数	個	2.05 (2004)	4.72	6	8	市民のエコライフの実践状況を見る指標です。 「マイバッグの使用」「ごみの分別の徹底」などのエコ活動の実践項目数の増加をめざします。
		取得方法または出典など	市民意識調査。(1人当たりの実践項目数)			
		H22年度実績に対するコメント または指標値の把握が困難な場合はその理由				
		1人当たり実践項目数は平成22年度(第19回)那覇市民意識調査報告書より。				

3 今後の展開方針

・環境推進員(エコライフサポーター)、那覇市地球温暖化対策協議会等との協働による講座の開催や、地球おんだんか対策カレンダーの作成・配布、市広報紙等での意識啓発を継続実施し、地球環境保護の実践項目数の増加を図る。